

犬とキャッチボール

③

うちのクロは、食べ物を目の前に見せてほえて！と言つと、「ワン」と応えてくれます。ちょっとしたトレーニングの成果です。

最近、このクロの声が、もう一匹の犬クッキーを呼ぶのに、意外な効果があることに気付きました。クッキーが離れた場所にいるとき、クロにほえさせると、クッキーは必ず、満面の笑みで走ってきます。なぜなら、クロがほえた時に私の所に来れば時々、おいしいおやつをもらえることを知っているからです。

そんな様子を見ていて、犬が喜んで走ってくるのは忠誠心からでも義務感から

「オイン」

と言われたら、おやつ袋の音を聞いたときと同じように喜んで走ってくる。これがどんな時でもできるようになれば、忠実に飼い主さんの元に戻ってくるお利口な犬のでき上がりです。

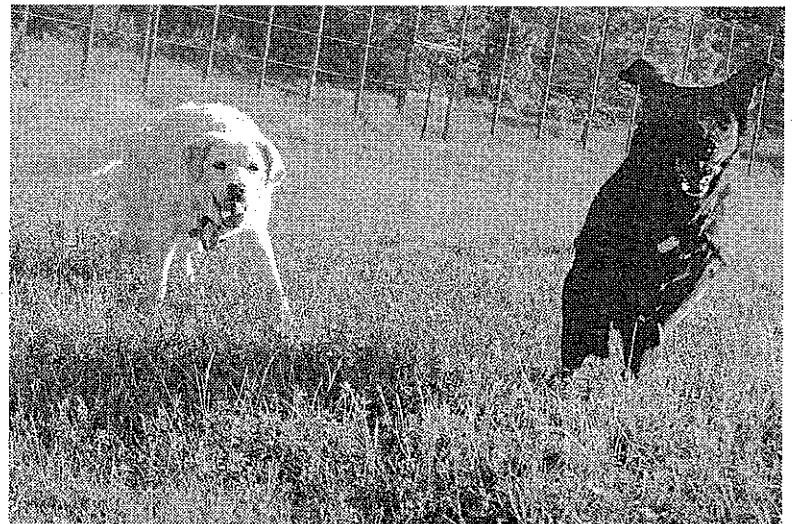
「食べ物で釣るなんて…」とがっかりしないで下さい。犬が初めからどんな人にも全幅の信頼を寄せ、見返りを期待せずにいつも忠誠を誓う生き物だ、なんて思われていたら、犬もちよつと迷惑かも知れませ

食べ物のか

信頼構築の手助けに

「オイン」という言葉が、それと同じように犬に受け取られたら素晴らしいと思

きなカサカサという音ではなないでしょうか。犬に何かをしてもらいたくてもできるまうにしたいきます。そうすれば、こちらが望んでいるような関係に近づけるはずで



駆けっこではいつもクロ(右)に負けてしまうクッキー(左)

犬には犬の見える世界があり、人間のそれとは異なります。食べ物はそれをつなぐ大切な手助けの道具になるのです。(辻村愛・ドッグトレーナー)